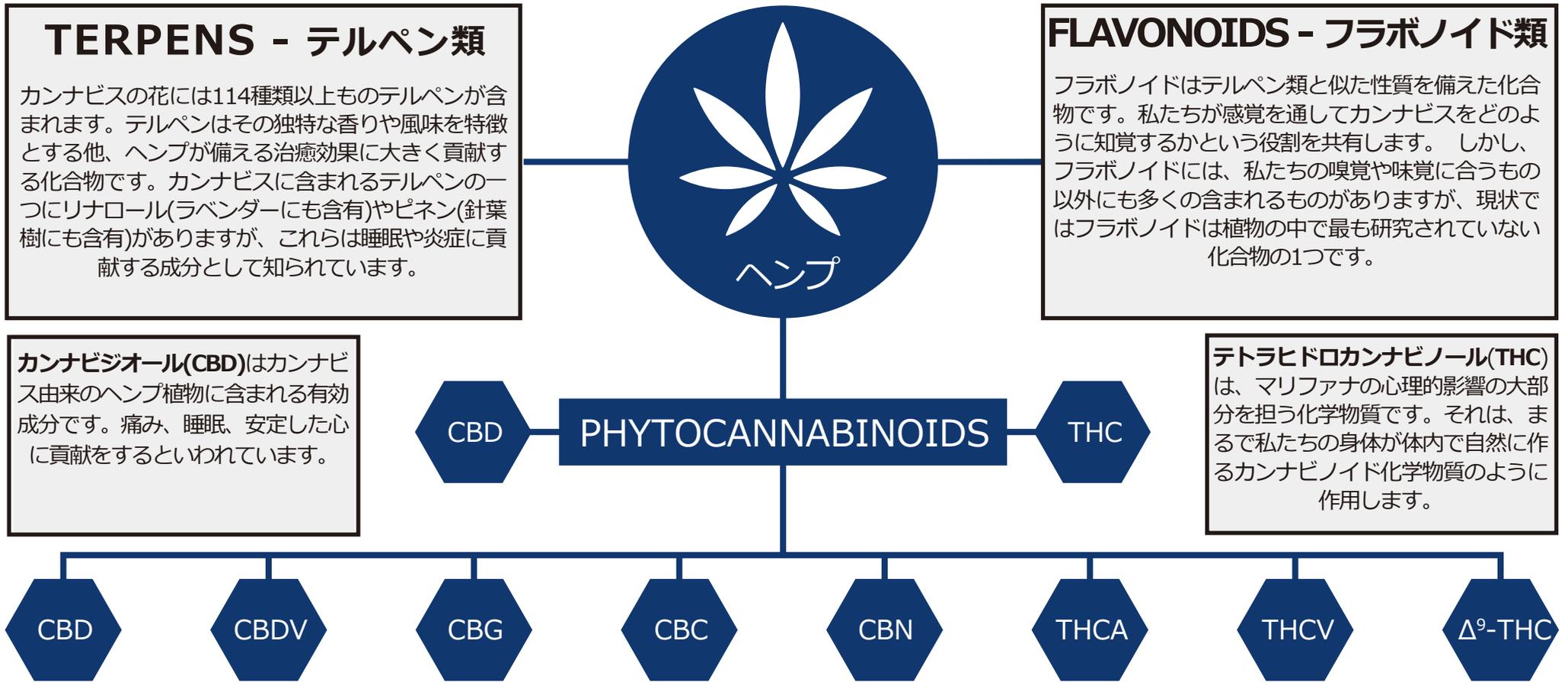




# 相乗効果(アントラージュ効果)

アントラージュ効果とは、ヘンプを構成する多種多様な天然成分がヘンプ元来の構成を保った状態にいる時、互いに相乗的に作用し、単体が備えた効力以上の有効性をもたらすメカニズムのことを意味します。



植物性カンナビノイド、または外因性カンナビノイドは、カンナビス植物の表面を覆う腺毛によって産生される植物由来のカンナビノイドです。トリコームは、植物の望ましい化合物のすべてを生成する役割を担っています。現時点で、100種類以上のカンナビノイドがカンナビス植物内に存在することが確認されています。植物性カンナビノイドは私たちの身体に点在する受容体と相互作用し、多数の精神作用効果や有効的な効果をもたらします。そもそも、植物と動物の両者ともが自身の体内で独自のカンナビノイドを生成します。なお、哺乳類が体内で生成したものをエンドカンナビノイドと呼ばれます。上記に列記された植物カンナビノイドは、カンナビジオール酸(CBDA)、カンナビジバリン(CBDV)、カンナビゲロール(CBG)、カンナビクロメン(CBC)、カンナビノール(CBN)、テトラヒドロカンナビノール酸(THCA)、テトラヒドロカンナビバリン(THCV)、デルタ-9テトラヒドロカンナビノイド(Δ9-THC)